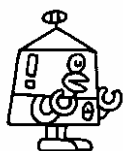


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
魚の卵の成長 / 理解シート

キンギョは、何個ぐらいたまごを産むの



1回に 300～1000 個産み、^{さんらん}産卵の時期に数回産むので、
およそ 5000 個のたまごを産むといわれているよ。

キンギョの種類によって、産卵数はいろいろ

キンギョは、何のなかまか知っていますか。キンギョの先祖は^{せんぞ}フナで、人間が改良を重ねて、今いるようなさまざまな色や形のキンギョが生まれてきました。だから、キンギョの種類によって、たまごの数もかなりちがってきます。

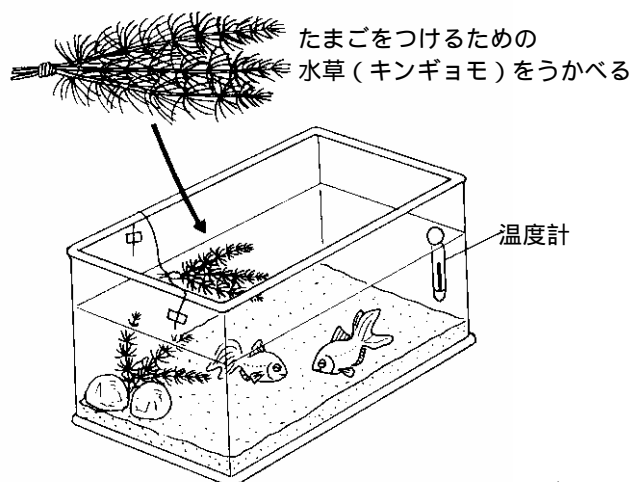
ふつういわれているのは、1ぴきのキンギョが1回に産むたまごの数は、メダカより体が大きい分だけ多く、300～1000個、種類によっては1万個も産みます（メダカは1回に10～50個ぐらい）。そして、春から始まる産卵期に、1～3週間おきに3～4回は産卵するので、およそ5000個ぐらい産むとされています。

キンギョのたまごがふ化する日数は、メダカよりはるかに短い

メダカは水温が18℃以上になると産卵しますが、キンギョはもう少し低温の15℃以上になれば産卵を始めます。メダカと同じように、オスがメスを追いかけて、水面近くで産卵するので、あらかじめ水面に水草をたばねたものをうかせておきます。

すると、たまごが水草からみつかるので、水草ごと別な水そうに移してふ化させます（いっしょにしておくと、えさとまちがえられ、たまごが食われる）。

キンギョのたまごがふ化する日数は、水温によってちがってきますが、水温が20℃なら5日（メダカは17日）、25℃では2～3日（メダカは10日）と、メダカよりかなり短い日数です。



キンギョの産卵の準備